



1. 第4回 IFMIF-EVEDA 事業委員会開催

3月24日六ヶ所文化交流プラザ「スワニー」で第4回 IFMIF-EVEDA 事業委員会が開催された。今回は高津議長を初めとする委員5名(内3名欧州)、専門家10名(内4名欧州)および事業チーム8名の計23名が出席した。本事業委員会では、2008年の年次報告を受けて事業の進捗を確認するとともに、それに基づく事業計画の改訂案や、事業チームの人員の増強、日本に持ち込む機器についての日本の安全基準の適用などが話し合われ、5月に六ヶ所村で開催される運営委員会への勧告が纏められた。次回の事業委員会は、2009年10月20・21日に六ヶ所村で開催の予定である。

2. 管理研究棟の竣工と業務開始

六ヶ所 BA サイト(今後の正式名称:国際核融合エネルギー研究センター)において、昨年5月から建設が行われていた管理研究棟が3月16日に予定どおり竣工した。30日には BA 活動の事業チーム、核融合研究開発部門および青森研究開発センターのスタッフで業務開始式が行われ、ここを拠点とする業務を本格的に開始した。

また、計算機・遠隔実験棟においては、各階の床のコンクリート打設、IFMIF/EVEDA 開発試験棟においては、加速器室の遮へい壁のコンクリート打設が開始されており、研究施設の工事も春の訪れとともに活動が再開されている。

(日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門)



図1 国際核融合エネルギー研究センター業務開始式
(平成21年3月30日撮影)